▲大分県聴覚障害者センター事務長時代の奈須さん

大分の手話通訳のリーダオフマン

奈須 博幸
別府市

大分に奈須さんあり。県の手話通訳活動の先頭に立って走り続けてきた奈須博幸さん。小学生の時、地域の祭りで同級生がろう者と手話で話すの見て衝撃を受けた。世の中には聞こえない人がいる。「手」と「手」で会話ができる。さらに柔道に夢中だった高校時代、通学バスで知り合ったろう者に手話を勉強したいというとテキスト『私たちの手話』を渡してくれた。この本が手話の魅力に出会ったきっかけとなった。柔道部の顧問の先生に許可を願い、部活と並行して手話講習会にも通い始めると、次第に魅力にはまっていった。日本福祉大学を卒業し、資格を取得し、手話通訳者としてのキャリアを積む中、奈須さんは全通研大分支部長時代に「ろう者の求める手話通訳」を課題にフル回転。以来、多数の手話通訳関連の教材や書籍を手掛けた。そのユニークな企画の1冊1冊には、ろう者と手話通訳者そして健聴者への深い愛があふれている。

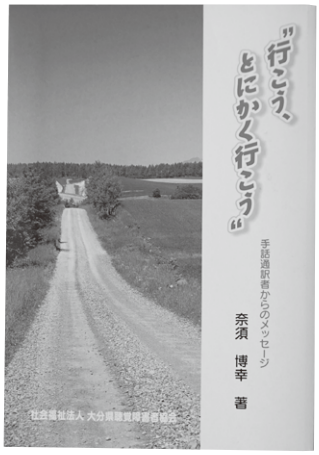
※グラビアページでは、写真撮影の瞬間だけマスクを外していただいています。

奈須さんが手がけた「手話関連書籍」の一例

❶

▶写真❶
ユニークな企画が注目を集めている。
「手話学習・ボランティア活動の手引き」…手話講習会のサブテキストとして活用。
「手話通訳事例集Ⅰ・Ⅱ」…手話通訳現場で求められる技術と基本知識が分かる事例集。
「大分の手話方言」…随時ビデオ撮影していた「大分の手話方言」を1冊にまとめた。同時にDVDも制作。
「聞こえない・見えない聞こえない人の防災・支援マニュアル」…災害時に本当に役立つマニュアルを聴覚関連７団体の協力で作成した力作。

❷



▶写真❷
「行こう、とにかく行こう」
奈須さんが聴覚障害者センターの事務長時代に日々の通訳活動で感じた想いを綴ったエッセー集。…ケンカ通訳、ろう者より先に怒るな笑うな、手話上達の秘訣は酒?など、手話通訳者の感性に訴えるエピソードが満載。

▶写真❶「大分県手話言語条例」制定。(2021年3月5日)
▶写真❷「大分大学手話サークル」会員対象にミニ講演を行う奈須さん。
▶写真❸「高齢ろう者の集い」クリスマス会で
▶写真❹「手話通訳者メイクアップ講座」奈須さんも参加、メイクを習った。

手話通訳活動 ひとすじに歩む

奈須さんは、手話通訳者認定試験に合格、講師資格を取得した1981（昭和56）年から、手話通訳･ろう者支援活動ひとすじに歩み続け、1982（昭和57）年から1984（昭和59）年は全通研大分支部長として、以後は一般会員として常に全力投球。現在も、手話サークル「別府のにじ」や手話講習会、手話通訳者講座、手話通訳者研修会などの指導や講師、大学サークルや高齢ろう者の支援など、エネルギッシュに活動している。今年3月5日には念願の「大分県手話言語条例」が成立した。「この道より我を活かす道なし、この道を歩む」が好きな言葉という奈須さん。夢は、「ろう通訳者」の養成に取り組み、ろう通訳者と健聴通訳者との協同作業により、法的･権利的面でろう通訳者が活躍できる環境を目指すこと。奈須さんの新たな挑戦はまだまだ続く。

▶写真❺「大分県聴覚障害者センター」前で、奈須さんと職員の皆さん。

▶写真❻「大分県聴覚障害者センター」ロビー。奈須さんはこの空間が好き。

▶写真❼ ミーティングにも力が入る。

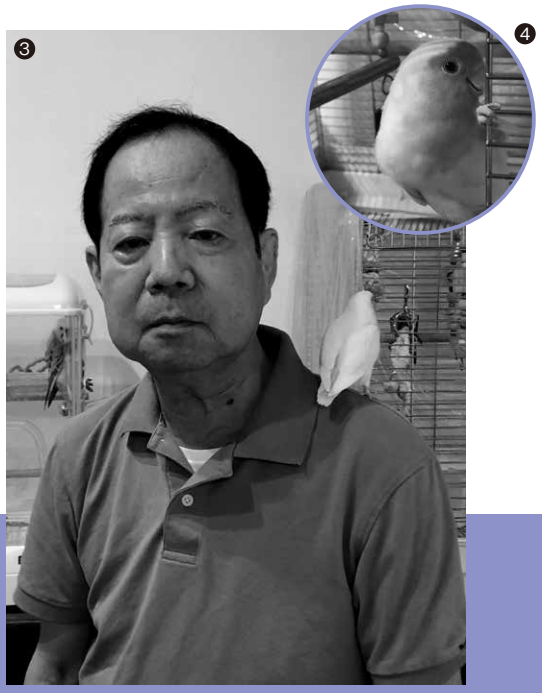
若いときからろう者に寄り添い 酒を酌み交わし育てた信頼の絆

若い時からろう者と共に活動してきた奈須さんは、今でも「何かあったら奈須さんに相談する」と大分のろう者から全幅の信頼を得ている。手話サークル会長だった20代の頃には、年に1回程度「オールナイト交流会」を提案、会議の名目で宴会を開き、県内のサークル会員とろう者が60人くらい集まり語り明かした。その頃の人脈が後の「大分県聴覚障害者センター」の運営を支えてくれた。奈須さんは、20代の手話夢中時代を経て、次第に「ろう者全体の福祉向上」や「ろう者の求める手話通訳」を考えるようになった。書籍事業や各種全国大会の開催の他、13市町村での手話通訳者の設置、18市町村との意思疎通支援事業の委託契約の締結、大分県内の「手話言語条例」の制定に尽力。奈須さんはいま、大分県聴覚障害者センターの施設長として、2年後に大分で開催予定の「全国ろうあ者大会」を視野に、全職員と全国手話通訳問題研究会の仲間と一丸となってコロナ禍を乗り越えようと邁進している。

郷土自慢は別府温泉と魚料理
孫とラインで話すのが楽しみ

「大分では温泉と豊後水道で獲れる関アジや関サバなどの海の幸がおススメです」奈須さんの郷土自慢は、県外の人たちから大好評。大分県は、源泉数、湧出量ともに日本一の温泉県で、月に1～2度、奥様と二人で別府や湯布院の温泉巡りに出かけるのが楽しみ。奈須さんがデレデレ（奥様いわく）になるのは、週に2回ほど交わす可愛いお孫さんたち（小1女子と3歳の男子、2歳の女子）とのラインでのチャット。どんなストレスや疲れも一気に吹き飛ぶそうです。ペットのインコと遊ぶのも癒しのひと時。奥様が言葉を特訓中で、インコが「昔々ある所にお爺さんとお婆さんが…」と話し始めると、奈須さんの表情がみるみる優しくなります。

写真／文　佐藤 篤



▶写真❶ 家族全員集合、還暦祝いの席で。
▶写真❷ 食通に人気の関アジ、関サバなどの料理
▶写真❸ 奈須さんの肩に乗る小桜インコの「メアリー」
▶写真❹ セキセイインコの「ブルー」